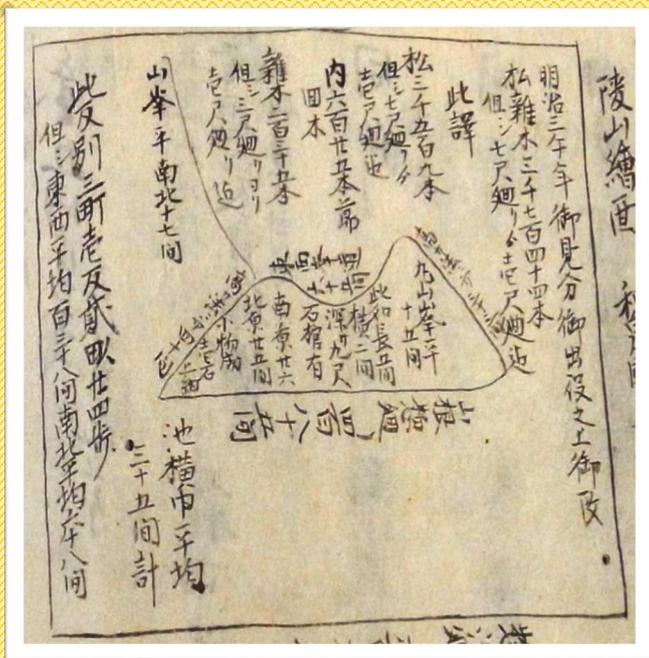


中百舌鳥キャンパスの隣の 世界遺産 —ニサンザイ古墳—



「諸用控」より

大阪公立大学中百舌鳥キャンパスの西門を出てすぐ左手にあるのが「ニサンザイ古墳」。前方後円墳の後円部が見えています。2019年7月に世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産の一つです。

ニサンザイ古墳の築造時期は5世紀後半で、墳丘の全長約300m・前方部の高さ約25.9m、日本で7番目の規模です。墳丘は宮内庁が陵墓参考地に指定・管理し、内濠は国の史跡に指定されています。

今回は、築造から約1,400年後の幕末・明治初期(19世紀後半)の様子が窺える史料を「和泉国大鳥郡土師村文書」のなかから展示します。安政7年(1860)「土師村絵図」・明治8年(1875)「諸用控」・同年「忘備録」です。とくに「諸用控」の絵図は石棺の所在を示す初の史料です。

2023年4月10日(月)～2024年3月29日(金)

中百舌鳥図書館B3棟分室(B3棟6階)

学外の方が観覧を希望される場合は、中百舌鳥図書館カウンター(C5棟1階)までご相談ください。